

2023年度 自己評価・学校関係者評価報告書

2024年4月30日

学校法人秋元学園 狛江みずほ幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・心身ともに健全な子を育てる。
- ・幼児の豊かな個性を伸ばす。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

子どもの体力の増進に努める。教職員の資質の向上に努める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの意見に耳を傾ける。	A	課題の進め方が一方的にならないよう、子どもの考えに寄り添った。
2	子どもの体力を増進する。	A	外遊びや体操指導を通して成果が見られた。
3	保護者と連絡を取り、家庭と園の指導の調和を図る。	B	放課後、保護者と電話連絡をとり、幼稚園と家庭の状況の調和を図ったが、連絡に若干の偏りが見られた。
4	子どもの異文化への触れ合いを図る。	A	外人の先生の導入や外国の子どもの通園によって、視野が広がった。
5	教職員の資質の向上を図る。	A	教職員マニュアルの作成や研修会の実施によって、一体感が増した。

評価

(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

自己 評価	総合理由
A	外遊びを促し、体力増進につなげた。遊びを通して子どもたち同士の様々なトラブルにやさしく寄り添い、社会性習得を側面から援助した。放課後の家庭との電話連絡を促進した。いろんな外国人（大人や子ども）と園内で過ごすことにより、子どもの国際感覚が広がった。就業規則以外に保育技術のマニュアルを作ることにより、保育の一貫性の向上に寄与した。

評価

(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	家庭との連絡	普段会うことの少ないバス通園の保護者を中心に、電話連絡でなるべく多くの保護者と連絡をとる。
2	安全管理	緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアル等を教職員間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。実施訓練を増やす。

6. 2023年度教育水準向上支援事業実施報告書

以下を、実施した。

- (1) 幼稚園の教職員の資質向上のための行動規範に関するマニュアルを製本した。今まで断片的に分かれていた次のような情報を、一冊の本にまとめ、だれもが同じ理解ができるようにした。保護者との対応要領、外来者との対応要領、教員としての行動規範、各行事の実施手順、避難訓練の基本手順、クラスでの朝礼および帰りの流れ、災害時の対応、毎日の保育での教員として注意すべき事項等。
- (2) 人材育成・専門性向上のために園長含む全教職員の研修を行った。初めて社会人になるにあたっての常識及びマナー、および経験者がリーダーとしてふるまうときの規範などを、専門講師を呼んで習得した。
- (3) 幼児が異文化に触れあう機会創出のために外国人講師を招致した。週に1回外人講師を招き、英語とのふれあいおよび遊びを通して、日本とは異なる世界があることを学んだ。

7. 学校関係者評価委員会の評価

組 織

父母の会の役員（約6名）及びクラス委員（各クラスから2名）の保護者、そして園長、理事長で構成する委員会を結成し、2か月に1回くらいの頻度で定例会を開き、幼稚園でそのとき行っている保育とその背景について説明し、保護者との質疑応答の場を持つ。特に最終回の定例会（3月）では1年間を総括し、次年度に役立てる。

評 価

狛江みずほ幼稚園の職員は熱心で、各行事を通して子どもがよく成長している。子どもが幼稚園に行くのを楽しみにしていて、保護者の満足度はアンケートを通して非常に高いことがわかる。

毎日の乾布摩擦や専門講師による体操指導などで、健康面での体力増進は高く評価できる。先生から放課後にこまめに電話連絡をもらい、幼稚園の様子がよくわかるのは他の幼稚園、保育園では見られない優れた点である。全職員がマニュアルに従い統一された行動をとっているのは分かりやすくて好ましい。外国人講師と触れ合って、子どもから英語が出るようになるのは集団教育の成果と評価できる。

7. 補助資料 教職員アンケートと保護者アンケート

※教職員アンケート 18 件の回答(すべての教職員ではありません)

2024.3.31

項目(子ども、保護者、自分に関する分野)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
子どもの表情・しぐさ・つぶやきなどを見逃さずに受け止めている	11	7	0	0
子どもの発見を素晴らしいと思い、感動することがある	18	0	0	0
その場限りで子どもを判断せず、継続的に見て判断している	15	2	1	0
子どもの行動に対して、なぜそうするのか心の理由を考えたり、探してみる	13	5	0	0
結果だけでなく、過程や取り組み具合をよく見ている	14	4	0	0
子どもであろうと、適切な言葉遣いを心がけている	15	3	0	0
子どもには笑顔で優しく接している	16	2	0	0
園の教育方針を理解し、保育の中で活かしている	14	4	0	0
上司の話や文書の意味を理解し、保育の中で活かしている	15	3	0	0
偶然に起こったこと(雪や虹)なども保育の中で活かしている	15	3	0	0
保護者の言い分を素直に受け止め、否があれば謝り、出来ることは改善していく	16	2	0	0
子どもに関する専門的な情報や知識を有し、保護者の質問や疑問に答えられる	8	8	1	1
子どもの変化や出来事を出来る限り保護者に伝えようとしている	14	3	1	0
保護者との接し方は平等になるように心掛けている	15	2	1	0
保護者と親しくなっても友だちのような言葉遣いはしないようにしている	16	2	0	0
朝と帰りの挨拶を明るく言っている	16	2	0	0
笑顔を常に心掛け、感情を態度に出さないようにしている	15	3	0	0
人に呼ばれた時は、はっきりと返事をしている	14	4	0	0
自分の分担以外のことも関係ないと思わない	15	2	1	0
同僚との共同作業の場合でも自分の事としてとらえ、他人任せにせず行っている	15	3	0	0

項目(子ども、保護者、自分に関する分野)	あては まる	ややあて はまる	あまりあては まらない	あてはま らない
指示や伝達事項を正確に確認して伝える	14	4	0	0
自分の意見がある場合は、職員会議等で述べている	8	6	3	1
自分の考えややり方と違っていても、文句や愚痴を言わず、決まったことには従う	13	5	0	0
出来ない理由を考えるより、どのようにしたらよいか対策を考える	12	5	1	0
優先順位を考えて臨機応変に仕事をこなす	10	8	0	0
外国人講師を招き、異文化と触れ合うことで子どもたちに変化があった	11	7	0	0
常に集合時間や開始時間、提出期限を守る	16	2	0	0

※保護者アンケート 223 件の回答(すべての保護者ではありません)

2024.3.31

項目(子ども、教職員、幼稚園、その他に関する分野)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
お子さんは幼稚園に行くのを楽しみにしている	181	34	6	2
お子さんは先生を慕(した)っている	206	14	2	1
お子さんは幼稚園で友だちとの関わりを楽しんでいる	178	41	3	1
お子さんは幼稚園の出来事を家で話している	133	74	13	3
お子さんは諸行事に喜んで参加している	190	29	3	1
お子さんは幼稚園生活で自主性が芽生えたと思う	159	58	6	0
先生は子どもたちの良い所を見つけ伸ばそうとしている	178	41	4	0
先生は子どもたちの様子や連絡などをよくしてくれる	152	54	13	4
家で外国人の話や英語を楽しんでいる様子が見られた	163	50	9	1
教職員は子どもたちの健康や安全確保に努めている	175	42	4	2
教職員は明るく熱心である	199	23	1	0
幼稚園はおたより、通信などで方針や活動をわかりやすく伝えている	170	46	6	1
幼稚園は環境設備に配慮している(園舎、園庭、遊具など)	179	38	5	1
父母の会の活動は適切である	166	56	1	0
課外教室の活動は適切である	170	48	5	0
上記を総合して幼稚園には満足している	190	31	2	0